



Fall 2020 October 向けにリリースされたコネクタ.....	1
Amazon Redshift V2 コネクタ.....	2
Amazon S3 V2 コネクタ.....	3
Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 コネクタ.....	4
Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 コネクタ.....	5
Microsoft SQL Server コネクタ.....	7
Oracle コネクタ.....	8
Salesforce コネクタ.....	8
SAP BAPI Connector.....	9
SAP テーブルコネクタ.....	9
Snowflake Cloud Data Warehouse V2 コネクタ.....	10
Informatica グローバルカスタマサポート.....	12

データ統合コネクタの修正済みおよび既知の問題の詳細については、[データ統合コネクタのリリースノート](#)を参照してください。リリースノートに関しては、次のガイドラインを考慮します。

- コネクタの既知の問題は、現在のリリースでコネクタが更新されていない場合であっても、リリースノートに記載されています。
- コネクタに注目すべき既知の問題や修正済みの問題がない場合は、リリースノートには記載されていません。
- 各問題の説明に含まれる（年月）の値は、問題が修正または報告されたリリースを示しています。

データ統合の問題の詳細については、[データ統合のリリースノート](#)を参照してください。新機能と改善点については、「[更新情報](#)」を参照してください。

Fall 2020 October 向けにリリースされたコネクタ

Fall 2020 October リリースでは、次のコネクタがリリースされています。

- Amazon Athena
- Amazon Redshift V2 コネクタ
- Amazon S3 V2 コネクタ
- Azure Data Lake Store Gen2 コネクタ
- Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 コネクタ
- Microsoft SQL Server コネクタ

- Oracle コネクタ
- REST V2 コネクタ
- Salesforce Analytics コネクタ
- Salesforce コネクタ
- SAP ADSO Writer コネクタ
- SAP BAPI コネクタ
- SAP BW BEx クエリコネクタ
- SAP BW コネクタ
- SAP ODP Extractor コネクタ
- SAP テーブルコネクタ
- Snowflake Cloud Data Warehouse V2 コネクタ

Amazon Redshift V2 コネクタ

修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CCON-24879	Amazon S3 をソースとし、Amazon Redshift をターゲットとしてマッピングをプッシュダウンすると、マッピングは正常に実行されますが、プッシュダウンの最適化は失敗します。 この問題は、ORC ソースファイルに VARCHAR データ型を使用した場合、または JSON ソースファイルに String データ型を使用した場合に発生します。(2020 年 10 月)
CCON-22174	Amazon Redshift V2 ソースオブジェクトをパラメータ化し、マッピングタスクで詳細フィルタを使用すると、UNLOAD コマンドが正しくないためタスクが失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-25127	特殊文字を含むカラムから読み取るためにカスタム SQL クエリを指定すると、次のエラーが発生してマッピングが失敗します。 <code>com.informatica.powercenter.sdk.SDKException: Invalid operation field name</code> (2020 年 8 月)

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-28189	ソースタイプが複数オブジェクトである場合に、関連オブジェクトに対してフィルタ条件を適用すると、マッピングが失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-27072	ソーステーブル名に Unicode 文字または特殊文字が含まれている場合に、既存のターゲットを選択するか、ターゲットを作成すると、エラスティックマッピングが失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-20054	ソースオブジェクトの任意のフィールドの【クエリオプション】でソースフィルタを設定すると、Secure Agent によってターゲットオブジェクトのブル値がゼロに変換されます。(2019 年 10 月)

Amazon S3 V2 コネクタ

修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CCON-24148	メタデータを解決するためにサンプルデータファイルをインポートした場合に、サンプルデータファイルに JSON キー要素の一部として UTF-8 文字が含まれていると、文字化けして表示されます。(2020 年 10 月)
CCON-22382	マッピングを実行してバイナリファイルを書き込み、【CreateTarget】を選択すると、Secure Agent は詳細プロパティで指定されているフォルダパスに関係なく、S3 バケツルートディレクトリにターゲットファイルを作成します。(2020 年 10 月)
CCON-22251	【Timestamp】データ型と【Date】データ型のデータを Cloudera CDH 6.1 ディストリビューションの ORC ファイルから読み取るマッピングを実行すると、Secure Agent は誤ったデータをターゲットに書き込みます。(2020 年 10 月)

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-26975	ソースで JSON ファイルの文字列カラムの精度を設定し、【実行時に新規作成】を選択すると、文字列カラムの精度がデフォルトの 255 文字に変更されます。(2020 年 10 月)
CCON-25685	ファイルまたはディレクトリのソースタイプを選択し、【実行時に新規作成】を選択して、マッピングを実行すると、マッピングが成功した場合でも、Tomcat ログに次の例外が表示されます。 Internal error. Encountered an error because invalid path element [Partition] was encountered. Contact Informatica Global Customer Support. (2020 年 10 月)

Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 コネクタ

修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CCON-23489	マッピングを実行して Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 ソースから JSON ファイルを読み取り、Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 ターゲットに書き込む場合、Secure Agent により Double データ型の値が指数形式でターゲットに書き込まれます。(2020 年 10 月)
CCON-23462	マッピングを実行して Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 ソースから JSON ファイルを読み取り、Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 ターゲットに書き込んで実行時に空の JSON ファイルを指定すると、マッピングが無限ループで実行され、セッションログに次のエラーが表示されます。 <code>java.lang.Exception: [MPSVCCMN_10094] The Mapping Service Module failed to run the job with ID [3f8bc4AAEqRd-flz0dfjw] because of the following error: [EdtmExec_00007] [SDK_APP_COM_20000] error [JSON parsing issue:null]</code> (2020 年 10 月)
CCON-22600	同時エラスティックマッピングを実行して Microsoft Azure SQL Data Warehouse ソースから読み取り、Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 ターゲットに書き込むと、内部エラーが発生して一部のタスクが失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-22597	エラスティックマッピングを実行してサイズが 20 GB を超える Parquet ファイルを Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 ソースから読み取り、Microsoft Azure SQL Data Warehouse ターゲットに書き込むと、次のエラーが発生してマッピングが失敗します。 <code>org.apache.hadoop.fs.FileAlreadyExistsException</code> (2020 年 10 月)
CCON-22596	エラスティックマッピングを実行してソースから大量のデータまたは中程度の量のデータを読み取り、Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 ターゲットに JSON 形式で書き込むと、マッピングの実行に時間がかかるか、タイムアウトエラーが発生して失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-22510	エラスティックマッピングを実行して Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 ターゲットに Parquet ファイルを書き込むと、Secure Agent による 10 進データの読み取りが失敗します。R34 で追加。Adrija。(2020 年 10 月)
CCON-22507	FileName フィールドを使用して Avro から Avro または Parquet から Parquet へのエラスティックマッピングを実行すると、Secure Agent により一意の行ごとに複数のパーティションファイルが作成され、メモリ不足エラーが発生してマッピングが失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-22344	Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 コネクタを使用して、階層データ型を読み書きすることはできません。階層データ型の複合ファイルをインポートすると、マッピングが無効になります。(2020 年 10 月)
CCON-21654	エラスティックマッピングで圧縮された JSON ファイルを読み書きすることはできません。(2020 年 10 月)
CCON-19094	ORC ファイルから Timestamp データ型および Date データ型のデータを読み取るマッピングを実行すると、ターゲットに書き込まれるデータが Secure Agent によって切り詰められます。(2020 年 10 月)

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-22470	エラスティックマッピングを実行して FileName フィールドを持つソースからデータを読み取り、Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 ターゲットに JSON 形式で書き込むと、マッピングが失敗します。 回避策: インポートされたソースオブジェクトから FileName フィールドを削除してマッピングを実行します。(2020 年 3 月)
CCON-19370	圧縮ファイルを読み取るマッピングを作成すると、データプレビューに不要な文字が表示されます。(2019 年 9 月)

Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 コネクタ

修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CCON-26070	Microsoft Azure SQL Data Warehouse の複数のソースからデータを読み取り、実行時にテーブル名を上書きすると、次のエラーが発生してマッピングが失敗します。 "[FATAL] Exception: com.microsoft.sqlserver.jdbc.SQLServerException: The multi-part identifier 'dept_sd_upd.deptno' could not be bound. The multi-part identifier 'dept_sd_upd.deptno' could not be bound. The multi-part identifier 'dept_sd_upd.dname' could not be bound. " (2020 年 10 月)
CCON-26069	Microsoft Azure SQL Data Warehouse の複数のソースからデータを読み取り、実行時にスキーマ名を上書きすると、スキーマ名の変更は、関連オブジェクトではなくソースオブジェクトに適用されます。(2020 年 10 月)
CCON-25347	マッピングを実行して Microsoft Azure SQL Data Warehouse ターゲットにデータを書き込み、実行時にターゲットを作成し、テーブル名を上書きすると、次のエラーが発生してタスクが失敗します。 "[FATAL] Error : Invalid object name 'alldt.emp_CT2'. " (2020 年 10 月)
CCON-25207	外部テーブルとソーステーブルの名前が同じである Microsoft Azure SQL Data Warehouse ソースからデータを読み取ると、これらのテーブルがソースオブジェクトリストに表示されません。(2020 年 10 月)
CCON-21997	エラスティックマッピングを実行してソースから読み取り、Microsoft Azure SQL Data Warehouse に書き込むと、Secure Agent によって char、datetimeoffset、nchar、nvarchar、および varchar データ型の NULL 値が空の値として読み取られます。(2020 年 10 月)

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CLDDI-2679	エラスティックマッピングを実行してパラメータ化されたクエリオブジェクトを読み取ると、マッピングが失敗します。(2020 年 1 月)
CCON-28119	Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 接続を使用してマッピングをプッシュダウンし、パラメータファイルを使用して接続やオブジェクト、または詳細プロパティをパラメータ化すると、Secure Agent で値の上書きが失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-28017	Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 接続を使用してマッピングをプッシュダウンし、復号キーを更新または削除の操作に使用すると、マッピングが失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-27793	Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 接続を使用してマッピングをプッシュダウンする場合、更新または削除操作のプライマリーキーがターゲットテーブルの最初の列である必要があります。そうでない場合、マッピングは失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-27614	Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 接続を使用してマッピングをプッシュダウンし、式トランスフォーメーションで IIF 関数を IS_DATE() または IS_NUMBER() とともに使用すると、次のエラーが発生してマッピングが失敗します。 [Azure DW Full push down failed with error: [EQ: [com.informatica.adapter.sdkadapter.pdo.adapter.state.Scalar@7c682e26, 1]]]. (2020 年 10 月)
CCON-27543	Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 接続を使用してマッピングをプッシュダウンし、同じテーブルを複数のターゲットに書き込むと、Secure Agent により、最初のターゲットのみにテーブルが書き込まれます。(2020 年 10 月)
CCON-14462	キャッシュされていないルックアップを含むマッピングを実行すると、次のエラーが発生してマッピングが失敗します。 [エラー] com.informatica.cci.cloud.client.impl.CCIClientExceptionImpl: フィルタ条件の式の文字列が無効です。 (2018 年 10 月)
CCON-14249	フィールド名に特殊文字を含むソースを読み取るマッピングを実行し、[ターゲットの作成] オプションを選択して Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 ターゲットにデータを書き込むと、マッピングが失敗します。(2018 年 9 月)

サードパーティの既知の問題

以下の表に、サードパーティの既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-27504	Microsoft Azure SQL Data Warehouse V3 接続を使用して復号ファイルを読み込むマッピングをプッシュダウンし、ターゲットの詳細プロパティで「拒否しきい値」を指定した場合、Secure Agent は、拒否された行のエラーファイルの生成に失敗します。(2020 年 10 月) Microsoft チケットの参照番号: 120082823000669
CCON-26439	実行時にターゲットを作成した場合、テーブル名に Unicode 文字が含まれていると、次のエラーが発生してマッピングが失敗します。 Cannot create target for transformation target due to the following reason: [There is already an object name '名字的含义 fchgch_unicode' in the database. (2020 年 10 月) Microsoft チケットの参照番号: 120082823001155
CCON-14106	varbinary カラムを含むソースからデータを読み取った場合、Secure Agent は varbinary カラムの空の値を NULL として読み取ります。(2018 年 9 月) Microsoft チケットの参照番号: 119051724001245

Microsoft SQL Server コネクタ

サードパーティの修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CCON-21138	Azure SQL Database ターゲットにデータを一括で更新または更新/挿入するタスクを実行すると、操作に対して誤った統計が記録されます。(2020 年 8 月) DataDirect の参照番号: 00534509

Oracle コネクタ

サードパーティの既知の問題

以下の表に、サードパーティの既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-27187	Oracle ターゲットに対して配列での更新または更新/挿入を実行すると、次の問題が発生します。 <ul style="list-style-type: none">- Oracle ターゲットでプライマリキーが定義されていない場合、適用および拒否される行の数が誤ったものとなります。- 更新カラムとして指定したマッピング内のターゲットフィールドに重複レコードが含まれている場合、データの不一致が発生します。 回避策: 更新カラムとして指定したマッピング内のターゲットフィールドに重複レコードを含めることはできません。(2020 年 10 月) 進行状況チケット番号: 00858178

Salesforce コネクタ

修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CLDDI-1970	多形性関係を持つ Salesforce ターゲットオブジェクトに書き込む同期タスクを作成した場合、多形性関係の関連オブジェクトの一部が表示されません。(2020 年 10 月)

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-12622	添付ファイルオブジェクトの同期タスクを作成し、任意のフィールドの精度を変更してタスクを実行すると、Secure Agent で精度の変更が更新されません。(2018 年 7 月)
CCON-589	キャッシュされていない Salesforce ルックアップオブジェクトを使用してマッピングを作成し、[複数一致] フィールドの [エラーを報告] オプションを選択すると、ルックアップトランスフォーメーションによって正しくないデータが返されます。(2015 年 3 月)

SAP BAPI Connector

Fixed issues

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	Description
CCON-26900	The SAP BAPI connection fails intermittently with a service not found exception. (November 2020)
CCON-20598	When you run a mapping using the SAP BAPI Connector as a business service and even though BAPI fails with an exception in SAP, the SAP BAPI mapping task does not fail. (July 2020)

SAP テーブルコネクタ

修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CCON-25492	更新カラムのキー以外のフィールドにアポストロフィ記号 (') が含まれている場合、SAP Table Writer のマッピングが失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-8617	SAP Table Reader のマッピングで、SAP で精度が定義されていないフィールドからデータを読み取ることができません。(2020 年 10 月)

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-15587	バルクモードを設定し、ネットワーク経由でデータを圧縮するために圧縮を使用する場合、パフォーマンスが低下する可能性があります。(2020 年 10 月)
CCON-2833	SAP テーブルのルックアップを実行するとき、データにパイプ () 文字が含まれていると、データの破損が発生します。(2019 年 4 月)

Snowflake Cloud Data Warehouse V2 コネクタ

修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CCON-22201	レコードをソートしてフィルタするマッピングを設定した場合に、テーブル名に特殊文字が含まれていると、ソートクエリが最終的なクエリに付加されません。(2020 年 10 月)
CCON-25127	特殊文字を含むカラムから読み取るためにカスタム SQL クエリを指定すると、次のエラーが発生してマッピングが失敗します。com.informatica.powercenter.sdk.SDKException: Invalid operation field name (2020 年 8 月)
CCON-22536	開発環境などの一部の環境で、設計時に Snowflake からメタデータをインポートし、本番環境などの別の環境でマッピングを実行するように接続プロパティでデータベースおよびスキーマ名の上書きを設定すると、マッピングが失敗します。この問題は、Snowflake 開発環境のインポートされたテーブルメタデータに変更がある場合に発生します。(2020 年 8 月)

サードパーティの修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CCON-24536	Google Cloud Platform 上または Azure 上の Snowflake との間で読み取りまたは書き込みを行うためにマッピングおよびエラスティックマッピングを実行した場合、キーペア認証を使用して Snowflake Cloud Data Warehouse V2 接続を設定していると、マッピングが失敗します。(2020 年 10 月) Snowflake の参照番号: 00127138

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-27863	Snowflake Cloud Data Warehouse V2 接続を使用して Snowflake ターゲットに書き込みを行うプッシュダウンの最適化が有効なマッピングに、Snowflake または Amazon S3 の複数のソース間で設定された並列ジョイナが含まれる場合、プッシュダウンが失敗します。ただし、このマッピングはプッシュダウンの最適化なしで実行されます。(2020 年 10 月)
CCON-27837	Snowflake Cloud Data Warehouse V2 接続を使用して Snowflake ターゲットに書き込みを行うプッシュダウンの最適化が有効なマッピングに、3 つ以上のジョイナトランスフォーメーションが含まれる場合、プッシュダウンが失敗します。ただし、このマッピングはプッシュダウンの最適化なしで正常に実行されます。(2020 年 10 月)

CR	説明
CCON-27703	プッシュダウンの最適化が有効なマッピングで Snowflake Cloud Data Warehouse V2 接続を使用した場合、そのマッピングに含まれる未接続のルックアップトランスフォーメーションで Snowflake ターゲットオブジェクトに指定した入力フィールドの一部のマッピングを解除すると、マッピング解除済みのすべてのフィールドが選択クエリに含まれます。(2020 年 10 月)
CCON-26186	ターゲットに特殊文字が含まれる場合、[ターゲットのトランケート] オプションが有効なエラスティックマッピングが失敗します。 回避策: <code>usestagingtable=off</code> プロパティを、ターゲットプロパティの [追加書き込みランタイムパラメータ] フィールドに追加します。(2020 年 10 月)
CCON-25296	[関連オブジェクトの追加] オプションを使用して結合された複数のテーブルからデータを読み取る場合、テーブルおよびカラム名に大文字小文字を区別するカラムが含まれると、マッピングが失敗します。(2020 年 10 月)
CCON-26115	テスト環境から本番環境など、特定の環境から別の環境へ Snowflake マッピングを移行した後に、本番環境のランタイムプロパティでデータベースおよびスキーマの上書きを設定した場合、インポートしたテーブルのメタデータに変更があると、マッピングが失敗します。 回避策: Snowflake Cloud Data Warehouse V2 接続の [JDBC URL の詳細パラメータ] フィールドで、 <code>db=<database_name>&schema=<schema_name></code> の形式でデータベースおよびスキーマの上書きを指定します。マッピングを再実行します。(2020 年 8 月)
CCON-22031	大量のデータを Snowflake に書き込んだ際に拒否されたレコードがある場合、拒否されたレコードの統計がセッションログに正しく表示されていても、拒否されたレコードの一部が指定したファイルに表示されないことがあります。(2020 年 4 月)

サードパーティの既知の問題

以下の表に、サードパーティの既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-27444	Snowflake Cloud Data Warehouse V2 接続を使用して Amazon S3 V2 から Snowflake へデータを書き込むマッピングにプッシュダウンの最適化を設定すると、1523 年という年号の ORC ファイルが誤って 1524 年として読み込まれます。(2020 年 10 月)
CCON-27359	プッシュダウンの最適化を有効にして、多数の Avro ファイルを Amazon S3 V2 から読み取って Snowflake に書き込むマッピングを実行すると、データの不一致によってマッピングが失敗します。(2020 年 10 月) Snowflake のチケット番号: 00144324
CCON-26986	Snowflake Cloud Data Warehouse V2 接続を使用して Amazon S3V2 から Snowflake へデータを書き込むマッピングにプッシュダウンの最適化を設定した場合、テーブル名に特殊文字が含まれていると、DTM エラーが発生してマッピングが失敗します。(2020 年 10 月) Snowflake のチケット番号: 00141167
CCON-26499	Snowflake Cloud Data Warehouse V2 接続を使用して特殊文字を含む Avro ファイルを Amazon S3 V2 から Snowflake に書き込むマッピングにプッシュダウンの最適化を設定すると、マッピングが失敗します。(2020 年 10 月) Snowflake のチケット番号: 00143259

CR	説明
CCON-26186	<p>エラスティックマッピングで Snowflake ターゲットの [ターゲットのトランケート] プロパティを有効にした場合、ターゲットテーブルに特殊文字が含まれていると、マッピングが失敗します。</p> <p>回避策: エラスティックマッピングのターゲットトランスフォーメーションの 【追加書き込みランタイムパラメータ】 で <i>usestagingtable=off</i> プロパティを設定し、エラスティックマッピングを実行します。(2020 年 8 月)</p>
CCON-25709	<p>プッシュダウンの最適化が有効で、Amazon S3 V2 から Snowflake にデータを書き込む 【実行時に新規作成】 オプションが指定されたマッピングを設定した場合、テーブル名に Unicode 文字が含まれていると、キャストエラーが発生してマッピングが失敗します。(2020 年 10 月)</p> <p>Snowflake のチケット番号: 00143923</p>

Informatica グローバルカスタマサポート

電話またはオンラインでカスタマサポートセンターに連絡できます。

オンラインサポートについては、Informatica Intelligent Cloud Services の **【サポート要求の送信】** をクリックしてください。またオンラインサポートを使用して問題を記録することもできます。オンラインサポートを利用するには、ログインが必要です。<https://network.informatica.com/welcome> でログイン要求できます。

Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica の Web サイト <https://www.informatica.com/services-and-training/support-services/contact-us.html> に掲載されています。